

新連載

中学校における DV 予防教育

前編 DV 予防プログラムの開発

酪農学園大学 食と健康学類 教育発達心理学研究室 教授 須賀 朋子

はじめに

今回「DV予防教育」をテーマにするにあたり、まずは私自身の話を少ししたいと思います。私が中学生に向けて「DV予防教育を開発したい」と考えた理由は2つあります。1つ目は、私の前職が中学校の教員だったからです。2つ目は、私自身が元夫から、DVを受けて、(今、思えば)命からがら逃げて、離婚を経験したからです。DV被害を受けているとき、ちょうど私は中学校の教員でした。朝から「料理が下手だ」と難癖をつけられて、手に油をかけられたり、反抗をすれば、髪の毛を持って引きずられたりしていました。このようなことが朝から起こっても、中学校に懸命に通勤して、中学生の前に立って授業をしていました。学校に行けば、生徒の笑顔に癒やされ、家庭内で起きていた暴力も感じないようにすることができたからです。しかし、暴力の質が、エスカレートしてきたため、逃げる決心をして、職場の自分のロッカーに貴重品などを運び始め、近所のスーパー銭湯から通勤をしたことを、今でも覚えています。その後、休職をして、シェルターに逃げました。

このような経験をして、「なぜ、DVが起きるのだろうか」や、卒業式の日の中学生の後ろ姿を見ながら、「この子たちには、DVの被害者にも加害者にもなってほしくない」という気持ちになり、そのためには「DVを予防するための教育を行うことが必要」と考えるようになりました。そこで、本や、インターネットでDVのことを調べていたら、筑

波大学にDVの研究をされている先生がいらっしゃることがわかりました。どうしてもDV予防教育の研究を行いたかったため、中学校の教員を退職して、大学院の博士課程に入学しました。その先生の下で、DV予防教育の開発のための博士論文を書き上げ、その研究成果は『中学生へのドメスティックバイオレンス予防啓発に関する研究』(風間書房刊、2015)で公表することができました。自分自身に、「中学校の教員とDV被害を経験した、私にしかできない研究開発」と言い聞かせて、一生懸命にDV予防プログラムの開発研究に取り組みました。

DV 予防プログラムの内容

内容や解説については、小冊子で『中学生・高校生のためのDV、暴力予防教育プログラム』(かりん舎刊、2020)に詳しく書かせていただきましたので、一読していただくと幸いです。このプログラムは「お互いを尊重し合う教育プログラム、人間関係を大切にしていくために～DVを知る～中学生編」というのが正式な名称です。そこで、①尊重、②暴力とは何か、③DVとは何か、の3部構成になっています。

最初は「尊重」がテーマで、人間関係について考えるために、「1. 人との出会いについて」から入り、「2. 人を尊重するってどういうこと？」で、クラブ活動での尊重ができていく場面と、授業のなかでの尊重ができていく場面とは、どのような場面かを紹介します。「3. 人を尊重できない人」を取り上げ、尊重できない人の特徴として、悪い事ばかり

お互いを大切にするってどういう関係？

不健康な関係

2人だけの世界になって、恋愛を生活の中心にしてしまっている。外からの刺激を遮断しているため、暴力などの良くないことが起きたときに、助けを求めることが難しい。



健康的な関係

2人の関係以外に、いろいろな人間関係に触れあうなかで、自分らしさを見つけることができる。

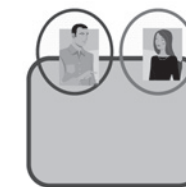


図1 お互いを大切にするってどういう関係？

を指摘し、きちんと言葉で説明しない特徴があること、話し合いを避けて、自分の感情を押し通すために相手を暴言や、暴力で威圧してくることを、説明します。

「5. こんな時どうしますか？男の子の立場」、「6. こんな時どうしますか？女の子の立場」では、それぞれデートDVにつながっていく例を、ストーリーテリングで紹介します。「7. お互いを大切にするとは？」では、健康的な関係性と、不健康な関係性について説明します(図1)。

次は「8. 暴力とは何か」に入り、暴力の

暴力の種類 - 1



身体的暴力：

殴る、蹴る、胸ぐらをつかむ、首を絞める、物を投げつける、髪を持って引きずる、タバコの火を押しつける、凶器を使う、薬物やアルコールの強要 等

性暴力：

性行為を強要する、避妊しない

図2 暴力の種類1

暴力の種類 - 2



身体的暴力：

大声で怒鳴りつける、昔の前で恥をかかせる、バカにする、家族や友達に会わさない、許可無しに行動させない、当たらないように物を投げつける、無視、眠らせない、「お前がおかしい」と言う、ストーカー行為、舌打ち、スマホのチェック。

経済的暴力：

お金を巻き上げられる、貸したお金を返さない、働くことが許されない、いつもおごられる。

内閣府HP

図3 暴力の種類2

本質は相手を支配することであることを説明します。そして「9. 暴力の種類」には、身体的暴力、性暴力、精神的暴力、経済的暴力があり、ひとつずつ、暴力の内容まで説明をします(図2、図3)。

さらに「10. 暴力のサイクル」(図4)で、「爆発期→ハネムーン期→怒りの蓄積期」というようにDVのサイクルにはパターンがあることを説明します。この図を

知っていれば、多くの人が、未然にDVに気づくことができることを伝えます。

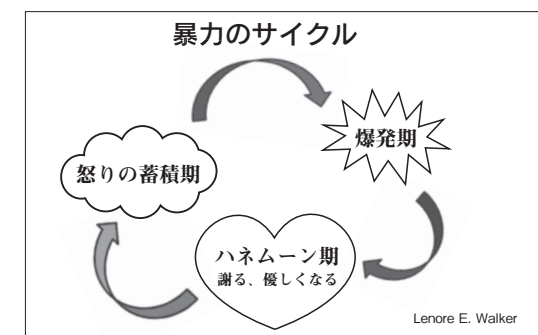


図4 暴力のサイクル

最後に「11. DVとは何か？」では「配偶者や恋人など親密な関係にある、または、あった人から振られる暴力」という定義を説明します。「12. DVの被害経験者」では、2021年の内閣府の全国無作為調査で、10歳代～30歳代で、「女性は16.7%、男性は8.1%が交際相手から1度でもひどい暴力を受けたことがある」と回答をしています。

「13. DVは他人事ではない」では、身近な問題として、気づくことが大切であることを説明します。

終わりに

DVやデートDVは、自分では我慢を続けて、気づかないことが多いです。先生方から見て、「おかしいな」と思うことがあれば、生徒に声をかけてあげてください。